
MY SWEET BOOTLEG (2016)

ハセガワアユム

登場人物

室田 剛 (25) . . . 若く硬派な漫画家。自分の漫画には思想があると信じる。

高橋 たかひろ (35) . . . 喫茶店のマスター。渋い。

佐々木 ミカエル (26) . . . 通称「ミカ嬢」、オタク女子。いわゆる「腐女子」BL

同人誌を執筆。

尾山 陽子 (31) . . . 通称「おやまん」、オタク女子。ミカとサークルを組んでいる。

白鳥 晶 (33) . . . 最近頭角を表す「腐男子」。ゲイじゃないけどBLが好き。

佐々木 結花 (21) . . . 大人っぽい女子大生。ミカの妹。可愛い。

○舞台

舞台は、小洒落ていて、こじんまりとしているカフェ。

いくつかのテーブルや椅子などが並んでいるが、

素材、形、色が種類別に分かれ、まるで何かのチームのよう。

カフェの入り口付近には、柔らかい色のソファとガラスのローテーブル。

中央には、灰皿が置かれたアイアンのテーブルと椅子。

奥の方には、大きなダイニングテーブルと木製の椅子が並ぶ。

統一感のなさが逆に統一感を生む、アンビバレンツと正直さがある。

そんなカフェの本棚に、やや浮き気味に、何故か、

暑苦しい画風の時代劇漫画『太郎丸』が置いてある。

○シーン1

ソファに座っている漫画家の室田。
ノートを広げてペンを走らせている。

壁沿いに喫茶店のマスター・高橋が立っていて、
ガニ股でダブルピースをしたまま、仁王立ちしている。

デッサンしていた、室田の指が急に止まる。
真剣な顔の室田、首をかしげて高橋に近づく。

室田
もっと、

高橋
え？

室田
もっと、足、広げて、

高橋
もっと？

高橋、足を広げ、かに股を拡張する。

室田 (足を掴み) もっと、もっとっすよ、

高橋 えええ、

高橋、こだわりが理解できないまま、慌てる。

室田 キープ！ いいっ！ その顔いいっすよ！ 恐怖におののいてる感じと、困惑が混じってる。タ

カさん、いい表情です。

高橋 ほんとうか？ (笑顔)

室田 キープ！ ・タカさん、笑っちゃダメだ。

高橋 くくくくっ (しかめっつらに戻る)

嬉々と筆を走らせる室田。

高橋 ・・これ、なんのキャラなんだっけ？

室田 悪者っすね。

高橋 人間？

室田 人間ですな

高橋 そうか・・・

室田 年貢をつかつてるくせに、存在しなかった奴隷の銅像を立てて、反体制的な記念館をつくり悦に入ってる極悪人です。その記念館の前で、記念撮影のピースサインしていると、太郎丸の刀でまっふたつに切られるシーンですね。

高橋 そうか・・・

高橋の足が痺れて来る。

高橋 それ、ガニ股いる？

室田 いますね、頭から切られてるんで。圧で、

高橋 そうか・・・

室田 (書きながら漫画の台詞を小さくつぶやいてる)

高橋 ね、お客さん来たら、いったんやめてもいい？

室田 もちろんですよ。すみません、こんなこと手伝ってもらって・・・

高橋 いいのいいの、全然暇だったから

室田 タカさん、なんかアーティストイックなんですよねえ。つい描きたくなるっていうか、

高橋 『萌え』ってやつ？

室田 タカさん、『萌え』知ってるんすか？

高橋 ああよ、もうオタクのひとたちだけじゃなくて、一般用語でしょ。

室田 俺、いまだに嫌いなんですよね。あの響き。

高橋 最近入った、うちのバイトの子がさ、休憩中に『もえてる！もえてる！』って、うるさいから。うちの店が燃えてるのかと思って（笑う）

室田 へへへ、

笑いながら足がガクガクし始める高橋。

高橋 はは、すまん、ちょっと休憩。

ストレッチする高橋、室田もペンを置くが、顔が曇る。

室田 ・・この店、オタクいるんすか？

高橋 え、

室田 バイトにオタク、何匹いるんすか？

高橋 ・・匹って、

室田 あ、すみません。つい。

高橋 ひとりいるよ。

室田 そっすか・・・

高橋 彼女、夜勤だから。室田くんとは会わないね、サイクル的に。

室田 夜、ずっと仕事場いるんで。

高橋 でしょ。

室田 なら、いいんすけど。せっかく、この店気に入ってるんで、来れなくなったらヤダなって。

高橋 え、オタク嫌いなもの？

室田 ……(頷く)

高橋 えええ〜〜〜！ オタクって、室田くんの漫画買ってるひとたちでしょう？ そういうひとたちを、

室田 違います。自分の漫画のファン層は、オタク、あんまりいません。

高橋 そうなんだ？

室田 雑誌のアンケートハガキで、好きな漫画を3つ挙げる項目があるんですけど、オタクっぽいクソ漫画と、被ってないです。

高橋 へー、まだそんなのあるんだ、ハガキ、

室田 硬派なんで。俺の漫画。

高橋 時代ものだしね、

室田 そこらへんのオタクが捉えてる「漫画」と俺の「漫画」は、もう別ジャンルなんです。

高橋 そうなんだ、

室田 タカさん、俺の漫画読んでますよね？

高橋 もちろん！ 店で全巻揃えてるじゃない（指差して）

ノートを掴み、勢いよく迫る室田。

室田 俺の漫画には思想があるんです！！ わかりますか？！ こういう、こういう（絵を見せて）醜

い悪人を脳天からぶったぎるようなね！！

高橋 それ、俺だけどね！

室田 オタク萌えするような、ただのエロとかバトルとか、そういう中身からっぽのようなもんじゃな

いんすよ！！！！

高橋 わかった！ わかったよ！

室田 特に、同人誌を描いているようなオタクに媚びてる漫画家は最悪です。自分の作品にある「隙」にわざと入らせている。

高橋 なに、同人誌って？

室田 オタクが、ひとの漫画のキャラクターを勝手につかって自分の漫画を描く・・・いわゆる、二次創作ですよ。

高橋 すごいじゃない！ んー、音楽でいうサンプリングってやつ？

室田 そんなかつこいいもんじゃないですよ、主にエロです。

高橋 ・・エロ？

室田 聞いたことないっすか、あの、「腐った女子」って漢字で書いて「ふじよし」って読むオタクたち。同性愛のエロ漫画が好物で、

高橋 ああ、なんとなくですけど、

室田 もともとノーマルなものを、勝手にエロ設定に変換するんです、

高橋 ・・ええ、と、

室田 どらえもんとノビタがセックスしてたり、

高橋 (想像し赤面) おいおいおい、どうして、

室田 最近だと「おそ松さん」で6Pしてたり、

高橋 「おそ松くん」だろ、

室田 キノコの山とタケノコの里がセックスしてたり、

高橋 お菓子でしょ?!?!

室田 しまいには、井の頭線と小田急線がセックスしてたり、

高橋 下北沢で、か、

室田 終わってんだ!! あいつら!! 自分からはなにも産み出さず、ひとの産み出したものを好き勝手いじくりまわしてる虫どもですよ。

高橋 . . .

室田 いつか、あいつらを俺の漫画にも出して、太郎丸で斬りつけてやりますよ。

高橋 時代劇でしょ、

室田 時代劇でも、(一息つき) 失礼。

ソファに座り、コーヒーを飲む室田。

その怒りはまだまだ滲んでいる。

高橋、そつと優しく寄り添い、エプロンを外し、ソファに落とす。

室田の手を揉み、マッサージをする。

少し、いやらしい。

高橋 大丈夫大丈夫(肩を揉み) ちよつと落ち着こう。

室田 すんません、つい。．．．あ、気持ち良いっすね。

高橋 だろ？ (首を揉み) リンパ。この店開く前、按摩さんやってたから。

室田 そうなんすか、んあっ、

高橋 凝ってるね。

室田 ああッ．．．ああ．．

高橋、室田に覆いかぶさるようにマッサージしていく。

高橋、室田がリラックスしていくのに加速し盛り上がっていく。

高橋 ふんっ．．．ふんっ．．

室田 そのバイトのオタクって、俺のこと知ってます？

高橋 んんっ？

室田 ．．．や、んっ、その、俺、ここ通ってるんで、そういう話、ああッ、あるかなって、

高橋 ふん．．．ふん．．してないよ

室田 ．．．そっすか。

苦笑いする室田。

高橋 なんでもちょっと寂しそうなもの、嫌いなんでしょ？ オタク。
室田 ……なら、いいんですけど。

高橋のマッサージが更に激しくなっていく。

ふたりの息も荒くなって行く。

音楽と暗転が重なり、二人をかき消していく。

○シーン2

ダイニングテーブルに3人、山盛りの同人誌が転がっている。
腐女子（『ふじょし』）のミカと、その妹でありながらも、
清纯派女子大生の結花が、同人誌を読みふけている。

同性愛の同人誌である。

テーブルの端では、ややスタイリッシュなオタクの風貌である晶が、ナルシスト気味なタッチでスケッチブックにイラストを描いている。

あまりにも衝撃的な内容なので、結花は固まっている。

それに気づかず、読み耽っているミカ。

盛り上がり、灰皿のあるアイアンテーブルの方へ行き、煙草に火をつける。ページをめくると、絶頂しているようなコマが目に入る。

ミカ くくくくくくっ！（はしゃぐ）

煙を吐き、同人誌は手放さず読み続ける。

結花が固まっていることに気づいた晶、ミカに話しかける。

晶 ・・ちよつと、

ミカ え、

晶 固まってる、

ミカ え、

晶 (結花を指差し)

結花 ……

やっと気づくミカ。

灰皿で火を消し、ハイテンションに話しかける。

ミカ あ、それ刺激強いから、閉じな！ ね！

結花 うん(そっと閉じる)

ミカ どう？

結花 どうって。

ミカ ボーイズラブ、初体験どう？

結花 どうって。ボーイズラブって、これオッサン同士じゃん・

ミカ これはね、「枯れ専のジジ攻め」だから。

結花 うーん、姉妹でエロ漫画読んでるって、この絵がすごい気がする。

ミカ 結花、これはエロじゃない。

結花 お姉ちゃんが、エロ漫画描いてるって事実をどう割り切ればいいのか？

ミカ 馴れだから。BLは、ゲージユツ、ゲージユツでしょこれ。

晶 (手は止めず深く頷く)

結花 これなんかどらえもんとジャイアンが、ノビタと、空き地で三人で、

ミカ あ、土管？ 土管のやつ？ クラシック、クラシックだからそれは！ 初心者にはいいかなうって。

結花 あたし、やだよお。オタクじゃないもん。

ミカ だからこそ、頼んでるんじゃない。

結花 えー。

ミカ オタクってさ、ぶっちゃけ今だイモっぽい子も多い訳よ。そこで結花みたいな可愛いパンギャル (一般人のギャル) が、きゃわいいコスプレでどーんって売り子に居てくれたら、うちのサークルの 宣伝にもなる訳よ。

結花 ・・そっかなあ。(同人誌) コレ買うひと、女なんでしょ？

ミカ (舌うち) ちっちちちち、最近、殿方も買ってくんだなく〜コレ。ね！

と、晶の方を見やるミカ。

晶、コーヒーカップを掲げ優雅になづく。

結花 (驚き) そのひとたちホモなの？

ミカ 萌えに境界はないわけよ。

結花 えー、ますますわかんないよお、

ミカ だから、いまはもう男女の垣根とか、セクシャルとか、そういうつままないものをさあ・・・(言葉を探して)

結花 んー？

晶 そういう「萌え」がジェンダーを溶かした訳なんです。

結花 んんん？

晶 ぐっちゃぐっちゃにね。

スケッチブックを片手に、晶がやって来る。

ミカ 晶くん！

晶 はい、描き立て(原稿を見せる)

ミカ おっおおおお！こりはこりは！やっぱ男性作画だと乳首のディテール全然違うわ！！！

晶 嗚呼！！乳首気づいてくれて超嬉しい！

結花 え、ええ？その、あの、男の人が好きなんですか？

晶 (ふっと笑い) よく聞かれますが、

ミカ 違うんだな、これが！ 晶くんは最近よく聞くでしょ、「腐男子」なの！

結花 ふだんし？

晶 つすねえ、

ミカ あたしらBL好きの「腐女子」の男版。ピクシブ(漫画投稿サイト)で意気投合しちゃって、最近うちのサークルに入ってもらって、

晶 (物憂げに) 画力と欲望があるのに行き場がないって、淋しい旅人じゃないですか、

結花 え？・・・じゃあやっぱり、男の人が好きなんじゃないですか？

晶 違いますね、

結花 BL? は好きなんですよね、

晶 ボーイズラブは愛してます、

結花 ・・読んで興奮するんですか？

晶 しますよ、

結花 描いても？

晶 もちろん、

結花 じゃあ男の人が好き、

晶 違いますね、

結花 こういうの興奮するんですよ、

晶 しますよ、

結花 描いても興奮、

晶 もちろん、

結花 じゃあ男の人が好き、

晶 違いますね、

結花 ループ？ ループしてる！！？

晶 僕のループは簡単に抜け出せませんよ、

結花 怖い、怖いんだけど、

ミカ わかって、わかってよお、「腐男子」わかってえ、

晶 BLは、なんていうか男同士という現世で叶わぬ理想を形にするゲイジュツなんです。男の僕もそこに感動してるんです、

陶酔しふらふらと元の席に戻っていく晶。

ミカ そう、夢い恋に萌えるの、

結花 それもいいけど、お姉ちゃんいいかげん彼氏つくんなよ、

ミカ ちよっと、待って、まだあたしの話の途中、

結花 え、

ミカ あたしのターンでしょ！

結花 (こっそり) いつまでも処女とつくから、そんなにこじれちゃって、

ミカ ちよっとお！

結花 こういう、二次元は別に趣味だからしようがないけどさ。三次元は三次元で頑張らないと。

ミカ (震えて) あたしのターンなのに、なんでそんなこという？

結花 だって、説得力ありすぎなんだもん。そっちの理屈ばっかで固めてるけど。じゃあいざ三次元で

恋したいって思っても、出来なくなるよ。年下でよければ、大学のサークルの子とか紹介しようか？

ミカ ……つくるとか、紹介とか、恋愛ってそういう人工的なものかしら、

結花 (でかい声で呆れる) おい処女！

ミカ ちよっと！ 晶くんは聴こえるでしょ、恥ずかしい、

結花 いいでしょ、腐男子なんだから。あの人だって、きつと童貞だし、

晶 妻子いますよ、

結花 ちよっと謎すぎるんだけど！

そこに店員の尾山がやって来る。

あからさまに店員っぽいおおげさな振る舞い。

尾山 ちよっとく、いいかげん二杯め、頼んで頂けますか？

ミカ やだ、おやまん先輩、店員みたい！

尾山 だって店員だもん。

ふたり きゃきゃきゃきゃ！！

晶 (無音で小さく拍手)

尾山 (晶のデッサンを見つけ) あ！ 晶っち！ これ最高じゃん！

晶 イエス！

尾山 あ、と、は、結花ちゃん、なんのコスプレやるか決まった？

結花 いえ、まだです。

尾山 いいのいいの、まだ時間あるからね。それまであたしたちの世界に少しでも馴染んでくれたらええなって思ってる。(同人誌に気付き) あ、ごめんね、初心者にこれきついっしょ！

結花 いえいえいえ、

尾山 (ミカに) おばかッ (晶に) あんたもおばかッ！

ミカ 大丈夫大丈夫、結花、前に45のおっさんと付き合ったことあるから。
尾山 むうわじでゆええええ！！？！？

尾山、信じられないくらい大袈裟に転ぶ。

全員 大丈夫ですか？？ (など)

尾山 結花ちゃん、あんたも、枯れ専なの？！

結花 たまたまですよ、ただの学校の先生で、

尾山 むうわじでゆええええ！！？！？

さらに大袈裟に転ぶ。

ミカ おやまん先輩！！

尾山 ミカ嬢、あなたの妹、枯れ専な上に教師属性つきとは、むむむ、

結花 まあ、女子校だったんで

尾山 禁断すぎる！！

ホラー映画で逃げる、デブで血まみれの少年のようなダッシュユで去る。

ミカ おやまん先輩！！！

結花 ちよっと、あのひとヤバいって。

晶 あなたが、先輩の萌えポイントビシバシ押ししてるんですよ！

帰って来る尾山。

手にはコロナやジーマの瓶ビール。

尾山 今日、もう閉店。締めて来た。

全員 ええ！

尾山 ちよっとじっくり、話そう。

ミカ いいの？

尾山 いいの、いいの、どうせ大した店じゃないんだし。あたしが夜の売り上げ分飲めばそれでいいで

しよ。ゴチったるから。（瓶を渡す）

ミカ ともです、

結花 どうも、

晶
じゃあジーマを、

尾山とオタクたちテンション上昇中。

尾山
（結花に）で、で、で、どんなおじさんが好み？

結花
別に、たまたまおじさんだっただけで。

尾山
（遮り早口で）あたしは、ぱっと見若いけど実はジジイ年齢のおじさんがストライクかな

ミカ
おお〜、それ『聖パヤリース学園』の健二爺じゃないですか！

結花
誰ですかそれ？

尾山
漫画あ！ 前髪下ろすとめっちゃ若く見えるとか、超萌える。

結花
え、じゃあスピッツのボーカルとか？

尾山
あああツツ近し近し！ 40越えてるからね、

ミカ
48ね、

尾山
フアーーー！ ミカ嬢は音楽にも造詣が深くてサンキューです、

ミカ
いえいえ、

結花
童顔、萌え？ じゃあ若い人でいいじゃないですか？

尾山
それ違うんだなあ〜。

ミカ アンチエイジングな時代が来て、その恩恵を一番受けてるといっても過言じゃないのが、おやま
ん先輩。

尾山 いつも心で、独り占めはわりいなくて思ってる。流しそうめんの出口にひとりでいるような、

結花 わかんない！

尾山 結花ちゃんのその45のおっさんは誰似だったの？

ミカ おーっ、結花のターン、

結花 えー、っと、まあ、歳の割に、睫毛が長くて目が綺麗で

尾山 おおおおお、

ミカ 若い頃の北大路欣也みたいのだったよね、

結花 ちよっと、

晶 じゃあ夏コミのうちの新刊は、スピッツのボーカルと北大路欣也のBLやっちゃいます？

尾山 おおおお、需要低い〜！

結花 どうやったらその二人出会うの?!

ミカ、椅子の上に乗って踊ります。

ミカ まず、北大路欣也がマツケンサンバみたいな曲で当てて、Mステの楽屋で出会い、

結花 馬鹿！ 馬鹿姉！

尾山 老後に好きなことをやりたいと、北大路欣也がスピッツのメン募に応募するってセンもあるぞ。

結花 いや、ないですよ！

晶 嗚呼ッ、それ！（閃いて描き出す）

結花 閃かないで、

ミカ 北大路欣也サンバの扇子をピック代わりにね（扇子で、弾く真似）

結花 そもそもスピッツレベルが、メンボしねえだろ？

尾山 もうぐいぐい来るね。

晶 （描きながら）スピッツのベース殺して空きつくりますか？

ミカ あたしの好きな眼鏡キャラも入れてくださいよ！

結花 北大路欣也がかければいいでしょ！！

ミカ それじゃ、ますますあなたの元カレじゃん！

結花 あ・・・

隙を突かれた結花。

顔に出る。

ミカ はははっ。まだ「萌え」、残ってる？

結花 ・・はあ？

ミカ (尾山たちに報告) まだ残ってんすよ、

尾山たち ああ〜、

尾山、急いで、喫茶店のナプキンの裏に、

眼鏡をかけた北大路欣也を描き始める。

ミカ あ、似てる。

晶 スピッツのボーカル描けました！(と絵を持ってく)

全員 おお〜！！ (笑い) ベース死んでる！ 超萌える！(など)

盛り上がってる輪から、結花がミカを連れ出し離れる。

結花 帰る。

ミカ ちよっと待って、コスプレ！

結花 ほんとにあたし手伝わたら、ホモ本売れるの？

ミカ 売れる、売れるから、

結花 (小声で) お姉ちゃん、それでお金マジで返してよ。

ミカ 返す返すから、

結花 ……ほかのバイトじゃダメ？

ミカ あたしこれしかできないんだよお、マジでえ、

結花 でもこの印刷代のために借金してんでしょ!?

尾山 やだ、ミカ嬢、ゆかちゃんから御借りしてたの?!

ミカ ぐふっぐうふふふ、

結花 誤摩化せてない誤摩化せてない、笑って誤摩化せてない! もくく、何歳まで萌え狂ってるのよお。

ミカ きつとババアになって萌え死ぬまでだねえ、

尾山とミカ、頷き合いじゃれ合う。

二人 きゃきゃきゃきゃきゃきゃきゃ!!

晶、小さく無音で拍手。

結花 納得してないでください！ も～～～～！！

ミカ、何の問題もなく輪に帰っていく。

結花、馬鹿らしくなり、酒を片手に離れたソファに座る。

それとなく、店の本棚にあった漫画『太郎丸』を手取る。

ミカ あくくく、このカップリング超面白いけど、新刊の需要としては低いですく！

尾山 そっかあ、

晶 どうします？ やっぱり『聖パヤ』にします？

三人 うくくくん、

三人がややアドリブで新刊のネタ探しをする。

気付くと、結花が『太郎丸』を読んでいる。

尾山 あ！ あれ！ ・ ・ ・ねえ、結花ちゃん、ちよつと、

結花 え、

尾山 好きなの？ 『太郎丸』？

結花 いや、置いてあったから、

晶 (鼻で笑い) なんですか、あの池上遼一みたいな絵柄、

尾山 なんか『月刊・時代劇』で連載してる、超硬派な漫画なんだけど、店長が何故か全巻揃えてて、床屋かって言う、

ミカ おやまん先輩、あたしのBLレーダーが察知しました、

尾山 マジで？

ミカ ちよつと、ちよつと貸して!!

結花 え、読んてるのに、

ミカ すぐ済むから!

尾山 (結花に) 安心して、「速読のミカ」って呼ばれてるから。

結花 えく『犬夜叉』みたいで面白かったのに、

超早く、読み出すミカ。

目を見開いたまま、小刻みに息を吸うたびにページをめくる。

超キモい。

結花 ほんとだ、超速い!

尾山 ね、

結花 キモイんだけど。え、家でこんな観た事無いんですけど、

尾山 キモイからじゃない？

読み終わる、ミカ。

ミカ ヤバい！！！！ ただの時代劇と思いきや、歌舞伎役者が奪われた七色の声を取り戻すというファンタジーやないですかあ！ しかも、主役の太郎丸は女型で、女声もでるといってディフォルテでBL要素が装備されとる！！

尾山 あくく、表紙で毛嫌いして読んでなかったく！

ミカ その絵柄とキャラのギャップ萌えもあるんすよ！ ほら！！

と、漫画を渡す。

尾山、ミカよりやや早く速読。

結花 キモ！ 先輩もできるんだね（ミカに）

超高速で読み終わる尾山。

興奮のあまり、本を床に投げつける。

それを拾った晶も速読。

結花 「結局、みんな（速読）できるんじゃない！」

尾山 なんじゃこりや〜〜〜！！！！ 灯台下暗しどころか、金脈高尾山にあり、宝くじのあたり

券を本のシオリにしたのごとし、はああ???

「ヒビキ」！ 太郎丸は声を取り戻すためにヒビキで美少年だろうが、弟だろうが、斬って行かねばな

らない、この切なさ、そしていうまでもなく、この刀で斬り合う行為は、

三人 セックス！！！！

結花 そう???

ミカ まだまだマイナーな漫画こそ、BLで火が付けばどかんといく・・・これこそ、あたしたちに

尾山、獣のように本棚を漁る。

尾山 ちくしょー！！！！ わが店ながら、なんで五巻以降がないんや、

ミカ （スマホをいじりながら）おやまん先輩！ 六巻まで出てて、明日、七巻発売みたいです！

尾山 なんつうタイミング！ これほんまもんの運命じゃないの。

晶 俺、フラゲ出来できる店知ってますけど！

尾山 いく！！！！

ミカ 結花、悪いけど、ちょっと、好きに呑んでて、

結花 うん、

尾山 帰るなら、これ、鍵。(渡して) ロックしたら郵便受けいれておいてね、

三人、盛り上がりなが買いに行く。

結花、取り残される。

一気に疲れたのか、ソファに座り、ローテーブルに足を乗せて、ビール瓶を一气飲みし、『太郎丸』の続きを読む。

そこに室田が入って来て通り過ぎて奥のテーブルへ向かう。

慌てて、足を下ろす結花。スカートが舞う。

室田 あ、

結花　ごめんなさい（足をあげてて）

振り返る室田。

結花の顔に、一瞬見とれてしまっまう。

間。

結花　・・・表、たしか閉まってませんでした？

室田　・・・そうなんだけど、タカさんいるかなって、

結花　ああ、

室田　あ、マスターね。

結花　ああ。いないみたいですけどね、

室田　あ、そうなの？　なんだ、そっか。

ローテーブルの上に『太郎丸』を見つける室田。

じっとそれを見つめる。

結花 これ、なんか面白くて。

室田 面白い???

結花 あ、はい。・・・ダメですか？

室田 いや、ありがとう。

結花 はあ(?)

ははあん、と繋がる室田。

室田 ・・・きみ、が、噂のバイトの、

結花 はい？

室田 きみ、「オタク」の子？

結花 ・・・そう見えます？

室田 見えないけど。いや、最近のオタクの子ってぱっと見、わかんないからさ。

結花 そんな人間に化けたエイリアンみたいに、

室田 バイトなんだよね？

結花 違います、ええと、姉の友達がバイトで、あ、その姉がオタクで、うー、説明めんどくさいな、

室田 うん

結花 帰ります。

片付ける結花に、声をかける室田。

室田 じゃあ、ここよく来るんだ？

結花 初めてですけど、

室田 そうなんだ、歳いくつ？ 名前は？ 家近いの？

結花 (苦笑して) ナンパじゃないよね？

室田 いや、

結花 じゃなくても警察の職質みたくだンドン来るから、おかしくて。

室田 はははっはっは。

結花 あなたこそ、お客じゃないの？ バイト？ なんなのこのナンパ職質、

室田 (慌てて早口で) ええと、マスターとは友達で常連なんだ。あ、友達と言っても、彼はゲイなん

んだけど、結構みんな知ってて、そういう「友達」じゃなくて、

結花 は？

室田 (さらに慌てて) ただの友達で、

結花 で？

室田 ……でって、

気まずい間。

結花 じゃ、

室田 (漫画をとって) これ描いてるんだ、僕。

間。

結花 またまたあ…。

室田 はは、

結花 ナンパならもって上手くやろーね。じゃ、

帰って行く、結花。

室田、結花の姿から目が離せないで追う。

そして、ノートを取り出し、結花の画を書き出す。

室田 ショートのボブで、目が、・・・（特徴をぶつぶついいながら）

幻想的な音楽が小さくかかり、明かりも合わせて変わっていく、

○シーン3 インタールード

音楽が小さくずっとかかっている。

明かりは小さな月がいくつもあるように、朧げに照らされている。

このシーンは、縦横無尽に時間と場所が進んでいく。

スケッチしていた室田が、ひとりごとのように宙につぶやく。

室田 『太郎丸』は、奪われた七色の声を取り戻しながら、愛と使命を知る、成長の物語だ。一見、ただのファンタジーに見えるかもしれない。しかし、根底には、いつの時代でも変わらない、世の中への怒りを忍ばせている。伝説の刀「ヒビキ」で悪事を働く敵を切り、太郎丸が取り戻した『声』は、自分

のものだけではなく、大衆の叫びが詰まった『声』でもあるのだ。ひとりでも多くの読者に、この声が届いていると信じている。

ミカ、入って来て、太郎丸の同人誌を描いている。

ミカ 『太郎丸』は、奪われた七色の声を取り戻しながら、愛と快楽を知る「性」長の物語だ。一見、ただのファンタジーに見えるかもしれない。しかし、根底には、いつの時代でも変わらない、禁断の愛欲を忍ばせている。伝説の刀・ヒビキで悪事を働く敵を切り、抱き、時に犯されて、時に縛られて、太郎丸が取り戻した『声』は、自分のものだけではなく、隠された性癖の叫びが詰まった『声』でもあるのだ。ひとりでも多くの読者に、この声が届いていると信じている。

店長のタカさんが入って来る。

帳簿と電卓を持っている。

高橋 ……なんで店閉まってんだろ？ (室田に気付き) えっ、夜にめずらしいね、

室田 あ、これ新刊届けようと思って。

高橋 あくありがとうね、いつも。

高橋、エプロンを外し近づく。

室田 あの、この子（似顔絵）、この子お客で来たらいつでも電話してください。

高橋 なに？ なになに？ また描きたくなるキャラ見つけたの？

室田 キャラっていうか（不気味に笑い）電話ください！

高橋 な、なに・・・（冗談っぽくおどけて笑う）恋とかあ？

室田 （超笑顔）電話ください！！！！

出てゆく室田。

高橋の顔から笑みが消える。

紙切れに目を落としながら、後方の席にいこうとすると、

尾山が入って来てテーブルの空き瓶や食器を片付けながら、

高橋へ話しかける。

尾山 あの、店長、もとバンタンの服飾科にいて服してくれるって聞いたんですけど、

高橋 うーん、つくれるって行っても、おれパターン引くのヘタだよ・・・

尾山 ただのコスプレなんで（テーブルの上の同人誌を渡し）これ！ ちゃんとギャラも払いますんで

高橋 10年以上前だしなあ、

尾山 店長って、按摩さんやってたり、服飾やってたりミスティアスですよね（超褒める）

高橋 えく、萌えないでね、

尾山 うははははは。

高橋 トリマーの資格ももってるよ、トリマーってさ、ペットの体調を

尾山 （長くなりそうなんで遮り）お願いします！ モデルめっちゃかわいいんで、多少雑でも全然い

いんで！

高橋 いや、やるならちゃんとするよ、

尾山 ・・ありがとうございます！！

尾山、ソファに座っているミカに話しかける。

尾山 ミカ嬢！（OKのサイン）

ミカ やったね！

そこに晶が目頭を押さえて入ってくる。

晶 委託してた『太郎丸』のミニコピー本、速攻で売切れました！（通販サイトが写ってるスマホを見せる）

二人 マジで？！

晶 マジも大マジ！！ 僕らの読み通りですよ。

尾山 マイナーな漫画ほど同人でいじられるのを待ってるファンがいるのよ！

ミカ （スマホを見ながら）ああああ、

晶 （無音で小さく拍手）

尾山 太郎丸が、宿敵のサギゾウを縛って犯すのを待ってるファンがいたのよ！！

ミカ 繋がったやん、あたし社会と繋がったやん・・・

尾山 うん、うん。

晶 すぐこれ、ページ追加してオフセットで増刷しましょう。

ミカ （表紙を指し）晶くんの嘆美な表紙もカラーにしたいっ！

晶 おおうっ！ 塗りますかあ、

尾山 いい？ みんなの心のおちんちんがみんなの心のおちんちんを刺激したのよ！

全員 くううううう！

と喜びながら、三人去る。

高橋、同人誌をパラパラとめくり、目を丸くして読み始める。

そこにイヤホンをした結花が入って来る。

高橋のもとへ。

結花　こんにちわ。

高橋　わっ！（エロ本を見ていた人の反応）

結花　えっとー、衣装のー、

高橋　ああ、店長の高橋です。

結花　店長？・・・（イヤホンをしまいながら超小声で）ゲイだから服飾なのか、服飾だからゲイなのか、
のか、

高橋　え？

結花　いや、なんでも無いです。

高橋　（メジャーを取り出し）やく、でも僕が直接測っちゃっていいの？

結花　全然、気になんないです！

高橋　・・・

結花　（小さく）同性感覚なんで、

高橋
はい？

結花
いや、なんでもありません。

微笑む結花を、じーっと見ている高橋。

結花
どうしたんですか？

高橋
（室田の置いて行った紙と結花を見比べ）うちのお店って初めて？ 来たことある？

結花
はい。ルイボステーキ美味しかったですよ。

高橋
・・・

結花
あ、先にトイレ借りても・・・

高橋
ああ、

トイレを指差し、向かう結花。

高橋、急いで室田に電話をかける。

高橋
ムロちゃん？ 今どこ？ 来た、来たよ、あの子、本当だって。早く、早く来て、

ダッシュで入ってくる室田。

高橋 速い！ 速いよお！

室田 ちょうど、近くまで来てて。彼女、

高橋 いまトイレ。(思い出し) あああ！ ねえ、ちょっと『太郎丸』見たよ！ 急展開だったねえ。
なにあれ？

室田 え？！

高橋 (尾山達の同人誌を差し出し) 俺、コミックス派だったんだけどさあ、まさか、室田くんがこんな
なの書くなんて、

室田 えええええ？？ (読む)

高橋 いや、そんな驚かなくても。・・勇氣、要ったろ？

室田 (叩き付け) 同人誌同人誌同人誌同人誌！

高橋 え、ええ？？

室田 言ったでしょ、エロがあるって、

高橋 ああ、超エロかった、

室田 俺がこんなの、描く訳ないでしょ？？？！！ ただのBL同人誌ですよ！！！！

高橋 ・・え、そうなの？

室田 絵、違うじゃないっすか！

高橋 エロだから変えたのかなって。

室田 ちつくしよおおお！！！

結花が静かに戻って来ている。

室田たちは気付かず、慌てふためいてる。

室田 俺の『太郎丸』がついにやられたっつー！！ あいつらに目付けられたああ！！

高橋 なんでちよっと嬉しそうなもの？！

室田 はあ？ そう見えます？

高橋 うん．．

室田 ．．．どこの馬鹿だ、こんなの描いたの！？（パラパラとめくる）

結花 漫画家って、ははは、マジだったんだ．．

二人 ．．．

結花 それ描いたの、うちのお姉ちゃんたち。ごめんね。

結花、申し訳なさそうな顔をする。

室田、怒るに怒れず発狂し雄叫びをあげる。

転換。

○シーン4

明かりが変わると、対決の狼煙が上がっている。

ダイニングテーブルに、ミカと尾山は晶は3人で並んで座る。

その向かいの椅子に座る室田。

高橋と結花は、観覧席のように離れたソファ席から傍観している。

室田がミカたちの描いた同人誌を読んでいる。

わくわくそわそわしている、ミカと尾山と晶。

彼らはなんで呼び出されたかあまりわかっていない。

室田は眼鏡をかけている。

怒りをこらえたまま。読み終えた同人誌をゆっくりテーブルに置く。

室田も、彼らになんて言葉をかけていいか迷っている。

室田 (晶に) きみは、なんなの？

晶 え、

室田 (腐女子ふたりを手で線引きし) ここまではギリわかる。ふじよし。わかんないけど、わかる。

・・ふだんし？

晶 そうですね、

室田 男のくせに、一緒になってこんな描いてくれちゃってさあ、

同人誌を指す。

晶 表紙、俺です。

室田 聞いてないよ、

晶 いまどきBLに、男も女も関係ないですよ、

尾山とミカ (うなづく)

室田 はあ？ じゃあ、なに、きみはそのゲイなの？

晶 違います、

室田 ・・でもこういうの読んで興奮するんでしょ？

晶 しますね、

室田 描いてても興奮、

晶 しますね、

室田 じゃあゲイって、

晶 違いますね、

室田 でも興奮するんでしょ？

晶 しますね、

室田 じゃあゲイなんでしょ？

晶 違いますね、

結花 (遠くから助け船を) そのループやばいからもうやめたほうがいいですよ、

室田 なんなんだよ、そのどっちつかずは!!!

晶 ・・差別ですか、

室田 差別、とかじゃないけど。大きな声は悪かった、

室田、姿勢を直す。

不可解が止まらない。

室田 僕はね、別に怒ってるって、わけじゃあないんだ。

三人 はい。

室田 (晶に) さっきは悪かった。絵はうまいよ、タッチは違うけど太郎丸の特徴を掴んでる、

晶 あ、ありがとうございます、太郎丸、好きなんです。

尾山とミカ (小声で) よかったね(など) あの、これ。よかったら、わたしたちから、

と、菓子折りを出す。

室田、一応受け取り、

室田 ああ、ありがと。今日は、きみたちを「大事なファン」として、尊重していろいろ質問したいな

ーと思って。

三人 はい。

間。

室田 佐々木さんは、太郎丸のどこが好きなの？

ミカ え、どこが、つて。・・・敵をヒビキで斬るときに、眼鏡を外すじゃないですか。

室田 ああ、

ミカ あそことか超萌えるんですよ。人が変わるっていうか、

室田 優しさの仮面を外すってイメージなんだけどね、

ミカ (超デカイ声で) 超判ります!!! 超クールな温度差!!! (真似をして眼鏡を外す) 『斬る・・・』

室田 あ、そういう声なんだ。・・・尾山さんは？

尾山 あたしは、その太郎丸のなかでは、サギゾウが大好きで。

室田 はい、

尾山 年齢不詳の男が、(補足) あたしは太郎丸との会話のジェネレーションギャップから、44だと踏んでるんですけど。

その女声を出すっていうことで性別まで不詳にしてるといっうか、

室田 ああ、深いね。

尾山 あ、はい。何気にお姉さんなんで。ふふ。

室田 サギゾウは太郎丸にとって最大の敵でもあり、そのいびつなキャラは、父性と母性を兼ね備えてるってイメージなんだ。

尾山 わかります！ 父殺しと母殺しを一緒に行なう悲劇を太郎丸は背負うんです。

室田 尾山さん？ 深いねえ。

尾山 はい！

喜ぶ尾山たち。

オーバー気味に感心する室田。

室田 ふんふん、ふんふん、そんな硬派で重厚な太郎丸がさ、

三人 はい！

室田 いつからゲイになったのかな？

間。

ミカ え、ゲイっていうか、

室田 (同人誌を指し) ゲイなんでしょ？

ミカ 太郎丸はピュアなだけなんです。

室田 そうだよ、彼はピュアな主人公だ。でも、ゲイじゃない。

尾山 ……童貞なんですか？

室田 童貞ではない、

尾山 ……いままで女キャラも出て来なかったし、

室田 俺がヘタなの、女描くの、単純に、ごめんね。

尾山 いえ、

晶 でも、歌舞伎役者なんですよね、

室田 歌舞伎のひとたちが全員ゲイってわけじゃないよね、

尾山 彼は、サギゾウと寝てから目覚めました、

ミカ (頷き) 実は受けなんです、

晶 そうですね、

室田 原作で、ふたりはセックスをしたかな？

三人 してません

室田　　でしょ？

三人　（笑いながら力強く）「原作では」してません

すごい空気。

室田　　きみたち、あの拷問のシーン読んでるよね。

三人　　もちろん、もちろんです（など）

室田　　あれ、担当の首を縦に振らせるの大変だったんだ。お堅い雑誌なのに、ここまでグロいを入れるべきかってね。・・・だけど、太郎丸が目的のために冷酷にならなければいけない世界観を表すために、も、ぼくは心を鬼にして、サギゾウの指を折る場面は、まさに太郎丸と一緒に泣きながら描いたんだ。

三人　　はい（感動）

室田　　（同人誌は）なんで、その指が太郎丸のアナルに入ってるんだ。

尾山　　・・あ、泣きながら、はい。

ミカ　　実は受けなんで、

晶　　そうですね、

室田　　ん（絶句）えーっと、

尾山　　判り合うために愛し合うというか。

室田 愛し合う???

ミカ 太郎丸のアジトに幽閉されたままじゃないですか。そのとき、きっとそういうこともあったんじゃないかなって。

晶と尾山 わかる!

室田 俺にもそういう妄想をさせちゃう隙があったってことかなく、
三人 そうですね。ありがとうございます!!!

勝手に盛り上がるオタクたちを尻目に室田、高橋たちの方へ。

高橋に小声で訊く。

室田 あのバイトの子、なぐっていい?

高橋 だめだよお、

室田 (結花に) お姉ちゃんなぐっていい? パーで、

結花 気持ちはわかりますけど・・・

室田 腐男子は殴ってもいいだろ、男同士だし、

二人 いやいやいや、

室田 そうだよね・・・うん・・・そうだよね

室田、振り向くと、オタク三人がくすくす笑っている。

室田 なにがおかしいの？

ミカ あたしたち嬉しいんです。普通、目つけられることなんてないな、って。

尾山 しかも直々に読んで載いて光栄です。

室田 すごいポジティブだなあ。

晶 愛情の反対は無関心っていうじゃないですか！ だけど僕たちは・・・

室田 だからどこまでポジティブなんだよ。

怒り出す室田。

室田 僕はねえ、『太郎丸』に賭けてるの！ まだちょっとマイナーだけでも、もっともっと売れて！

室田剛、ここにありつてさあ！ 代表作にしたい訳よ！ ヴィレッツジバンガードの棚、『太郎丸』で埋めたい訳！

二人 ……

室田 原発とか、あんだけのことあったのに、あれから世の中、少っしも良くななんないじゃん！ 不況

もさあ、オリンピック騒動もさあ、土下座外交もさあ、糞税金しかり、そういう世の中の糞を太郎丸に斬らせて、スカツとしてる読者がいるわけだよ。それがさ、はい横通りますよって、BLでございって、こういう本が出回っちゃさ、ファンのひとたちがっかりしちゃうと思うんだ。ねえ、タカさん！

高橋 (急過ぎてビビる) うううん、

室田 ねえ、結花ちゃん！ ね！

結花 あたしは『犬夜叉』みたいなだなんて気軽に、

室田 いいの！ そういう気軽さもいいの！

尾山 ……がっかりというか、喜んでるファンもいますよ。

室田 きみたちだけでしょ、

ミカ 違います！ だって、コピー本、

晶 そう、中野ブロードウェイに委託した100冊、全部売れたんですよ！？

室田 なんだって、

尾山 先生、さっき売れたって仰りましたよね？ アニメイトの棚埋めたいって。

室田 ヴイレバンね。

尾山 売れるためには、同人人気は欠かせません。というより同人誌から火が付くことでブレイクするのが大半なんですよ。

ミカ　　そうですよ、聖闘士星矢しかりテニプリしかり、

晶　　黒バスもハイキューも、弱虫ペダルも！

尾山　　無農薬野菜には必ず虫がついているように、いい漫画には虫がつくんです。ええ、あたしはいま自分たちのことをあえて虫と呼びます！

室田　　ええ？

尾山　　虫たちが勝手に原作の隙間を埋めることで『太郎丸』の厚みが増すことだってあるんですよ。

室田　　はい？

尾山　　『エヴァ』が再映画化したのだって、一冊の同人誌が庵野監督の心をノックしたって聞きますし。

室田　　俺の漫画が不完全ってこと？

晶　　（自らの胸を掴み吐露）もともと完璧な漫画なんてないんだッ！

室田　　それただのロジックでしょ？

ミカ　　（横入り意見）ただ、一ファンから率直に申しますと、キャラの活躍シーンが端折られたりするところが多く、なんか室田先生は、キャラのために世界があるわけではなくて、世界のためにキャラをつかってるんだなって。キャラから、もっと羽ばたきたいって声が聴こえるっていうか、

尾山と晶　　聴こえる聴こえる、

室田　　それが、太郎丸の刀の、ヒビキの柄がよお、ケツの穴に刺さってることなの！？

三人 だからあ、

室田 なんのため刺してんだよ？

ミカ 『太郎丸』が好きなんです！！！

室田 お前は、ただエロ描きたいだけだろ！！

晶 (庇い) 心のおちんちに罪はないでしょ！！

などと喧嘩になり、わちゃわちゃになる。

その間もアドリブが漏れる。

高橋、室田に相撲をとるように角へ押しやる。激しく身体がぶつかり合う。

高橋 ストーーーーーップ！！ 落ち着いて！！ (など)

高橋、室田を抱きしめて止める。

息が荒い。

尾山 店長、すみません。なんだが、個人的な趣味がここまで大事に。

高橋 ああ、まあ、こんなこと言うのもなんだけど、ひとつは表現の自由ってのがあってさ、それと著

作権ってのがあって、まあでもそっちの世界じゃ見逃してもらってるんでしょ？

尾山 主に裁判になったのは『ときメモ』で200万、『ポケモン』で10万くらいの賠償金を払ったくらいなのふたつくらいで、

高橋 あとは無法地帯なんでしょ、

尾山 まあ、

高橋 じゃあ、どんどんタケノコみたく生えてくる訳だ。

間。

高橋 ムロちゃん、見逃しなよ。

室田 え、

高橋 なんか傍聴席で話聞いてたらさ、お互いのいい分も判るし、ねえ。

室田 すんません、アツくなり過ぎて。

高橋 まー、僕、こういう世界を差別したくないし。

全員 ああ、

高橋 (見直し)ま、ちょっと許容してあげてもいいんじゃないの、みたいな。プロのみなさんは見逃してる訳でしょ？ プロなんだからさあ、これも試練だとおもって。

室田 (溜め息)

尾山 身近に試練があつてすみません、

結花 ちよつと、ちよつと、お姉ちゃん？

ミカ あがががが・・・

結花 アゴ外れたみたい、

全員 えええ？ (など)

晶 アゴイっちゃったかあ

高橋 救急車、救急車！

尾山 ちよつとこつちで横になって、

ミカ アガガガガガ (倒れこむ)

晶 大丈夫！？ (と支える)

全員 「大丈夫？」など、晶がミカを抱えて奥へ去る。

室田、手持ち無沙汰に菓子折りの袋を覗く。

室田 海苔かよ、

結花が戻って来て、ミカの鞆を漁る。

結花 保険証あるかな・・・

室田 ……

結花 先生、ごめんね。やっぱりいろいろと重症みたい。

室田 まあ熱心なファンであることは間違ってたなかつた。

結花 あの・・・なんとか姉を自立させたいな〜って。あたしも、あたしなりに「萌え」がなんなのか、調べたんですよ。

大学のゼミの子にきいたり、本読んだり、

室田 うん、

結花 そんで「萌え」って結局、性的な原体験なのかなって。

室田 ……

結花 初めて付き合ったひとだったりとか、性的に初めて受けてしまった行為を、美化して「萌え」に転嫁してるだけ。

室田 そうなの？

結花 例えば、小さい男の子がおばさんにいたずらされて、嫌だったはずだったのに、大きくなるとお

ばさん萌えしてしまうように、

室田 その例えはポピュラリティーあるのかな。

結花 あ、これゼミの吉田くんのことだ。言っちゃった。・・・で、枯れ専の尾山さんもオジサンと付き合ったことあって、腐男子ってのはいまだちよっと謎だけど。

室田 . . .

結花 お姉ちゃんだって、ただの眼鏡フェチなんですよ。高校のとき、変なバンドマンに片思いして、振られたくせにずっと引きずって。あいつが好きだったってことを、眼鏡が好きだったってことに置き換えて、性欲はそのまま、傷ついた心をすげ替えてる。

室田 面白いね、その視点。

結花 だからいまだに処女だし。あ、言っちゃった。(首を振り) あくくく、テンパってんのかな。

間。

結花 だから、見逃してもらえませんか？

室田 お姉さん、好きなんだね。

結花 可哀想で

室田 可哀想？

結花 漫画喫茶の会員証ばっかで保険証も見つからないんですよ（苦笑）二次元ばっかで完結してて、可哀想だなんて。

室田 ……

結花 あ、あつた！

保険証を抜き出し、結花、腕時計をみる。

そしてミカの財布をしまう。

結花 ああ、間に合うかな

室田 どこか出かけるの？

結花 はい、溜池山王に…デモ。

室田 あー、え。デモ、

結花 知りませんか？ シールズとかの、

室田 あ、ああ、

結花 ダメですか？

室田 いやいや、別にデモはいいんだけど、あれ、

結花 アゴは予想外だったんでしようがないっす。ことわっていきます、

結花、荷物をまとめて行こうとする。
室田、思い切って話しかける。

室田 萌えの話、ありがとう。参考になった。

結花 いえいえ、

室田 今後の『太郎丸』の展開に役立ってるよ。

結花 役立てちゃうんだ(笑)

室田 うん、

結花 先生、面白いね。

室田 あとお願いがあるんだけど。あの子たちの同人誌、新しいのできたらメールでもLINEでもな
んでもいいから、送ってくれない？

結花 ……検閲？

室田 (名刺を渡す)

結花 死にますよ、ただでさえ、今日火傷してるのに、

室田 ははは。

結花 できるだけ無視した方がいいですって、

室田 ただの興味だから。

結花 . . .

室田 わかったわかった、. . . じゃあさ、きみに漫画のモデルやって欲しいんだけど、どうかな？

結花 それも、ただの興味？

室田 (リアクション)

結花 ナンパうまくなってんじゃん。

アドレスを受け取る結花、去る。

室田喜ぶ中、救急車の音と音楽。

転換。

○シーン5

エプロンが床に落ちて散乱している。

マスター、室田の身体をマッサージしている。

ふたりとも、相当激しいマッサージで、まるでセックスのよう。

椅子とテーブルが揺れ、息が荒い。果てて、終わる。

高橋 …… 痩せた？

室田 ちよつと、漫画、根(こん)詰めてて。

高橋 そっか、

室田 すんません、

高橋 なんかないとも違うなって。

室田 はは、じゃあ、コーヒーはいつもの。

高橋 はーい。

高橋、コーヒーを煎れに奥に行く。

室田、スマホを取り出す。

返信を打ち返す。

高橋、コーヒーを持って来る。

高橋 はい、いつものブレンド。

室田 ども。

高橋 またLINE？

室田 はい、

高橋 ムロちゃん、あの子となんかこそそやってるでしょ、

室田 (咽せる)

高橋 なにこそそそやってんの？ 教えてよ。

室田 LINEだけだって、

高橋 最初はみんなLINEだけって言う、

室田 モデルを頼んでるの、

高橋 (壁を指し) じゃあそこ呼んで、がに股ピースで足広げれば！

室田 タカさんとは違うキャラだから、ヒロインの夜叉姫だから、

高橋 ひめえ？

高橋、スマホを見ようと孤軍奮闘。

高橋 減るもんじゃないし見たっていいじゃない、

高橋、スマホを奪い、LINEの写真まで見て一枚一枚にリアクション。

高橋 えーなにこれえ、

室田 かわいいでしょ、

高橋 そりゃ、かわいいよ。．．だって前カノそっくりじゃん。

室田 ．．にて、る？

高橋 似てるよ。

室田 ．．

高橋 萌えてるの？

室田 からかわないで下さい、

高橋 からかってないよ。

スマホを返す。

高橋 ムロちゃん、「そっち」に戻るの？

室田 え、

高橋 (大声で) せっかく忘れさせてやったのに、戻っちゃうんだくくく!?

間。

室田 お客さん来ますよ。

高橋 来るまで言わせてよ。もうお店でしか会ってくれないんだからさ。

室田 (詰まり) タカさんとは正式に付き合っているじゃないですか。

高橋 付き合うのに正式も非公式も、

室田 . . .

高橋 俺とは、恋愛じゃなくて、逃避だったんだね。

室田 帰ります。原稿描かなきゃなんないんで。

立ち上がる、室田。

高橋 コーヒー飲んでつてよ。

室田 ちょっと原稿ヤバいんで、

高橋 またそうやって逃げる、

室田 違うんす、本当ヤバくて、

倒れるように座り込む室田。

高橋 どうしたの？ ごめんごめん、どうした？

室田 ……サギゾウ殺しちゃったんです（小さく）

高橋 え、

室田 俺、サギゾウ殺したんです！ それで、

高橋 ええええ！！！ 人気キャラでしょ、

室田 BLのネタにされるの耐えられなくて。

高橋 無視になっていったじゃん。

室田 アンケート読んだら、同人サークル超増えてるらしいんですよ。

アンケートをごっそりだす。

室田 もう頭から離れなくて。あいつ、まだまだ生きてる予定だったのに、

高橋 わわわ、

室田 最後に仲間になる予定だったんですけど。それもBLたちが結局正解みたくなっちゃおうし。だから

・・・

高橋 えー

室田 骨壺まで描いたんで、これで大丈夫かなって。

室田、いところが急に切れる。

室田 あー！ー！ 殺しちゃったー！！！！ 俺、殺しちゃったー！！！！！！

室田がアンケートをばらばらにまく。

かき集める、高橋。

高橋 ちょっと、

室田 このあとの、この後の展開どうしようって、考えてなかったから、もう震えが止まらなくて、

高橋、室田を抱きしめる。

高橋 わかった、

室田 担当にもそんな理由で殺したなんて、ケツの穴の小さいこと言ったら信用無くすし、

高橋 わかった、わかったよ、

室田 太郎丸が命を狙われてるんで、隣の国に亡命するところまでは考えたんですよ、心機一転、亡命だし整形して、美少年キャラから脱却して、それで、それでどーすんだ？？

高橋 わかったから！一緒に、一緒に考えよう。

室田 ほんと？

高橋 考えよう！考えよう！

室田 ほんと？ うううう。

高橋から離れ、コーヒーを飲み干す室田。

室田 (涙を拭き) とりあえずいったん帰って、寝ます。

高橋 寝れる？ もっかい、マッサージする？

高橋の魅力にのまれそうになりつつ、

室田 もうさっきので、すっきりしたんで

高橋 おお、そうか

室田 本当ありがとうね。

帰ろうとする室田へ、アンケートをまとめ、渡す高橋。

ふらふらの室田。

呆然と話しかける。

室田 『太郎丸』からBLの匂いってします？

高橋 しないよお、

室田 あいつら、どこまで嗅ぎ付けて描いてるのかなって。

高橋 ……

室田 いつか俺のことまでバレるんじゃないかなって。…怖い。

高橋 ……

室田 やっぱそういうこと考えてると、「あっち」に戻った方がいいのかなって。

高橋 あっち？

室田 フツいの、ノーマルの、

高橋 こっちだって、フツーだよ、

室田 ……そうですけど、

高橋 あの、腐男子って人、どう思う？

室田 ……

高橋 ムロちゃん、「なんなんだ、そのどっちつかずは」って怒ってたよ。

室田 え、

高橋 ムカついたんじゃないの？ そういうさ、あっちいたりこっちいたりするの、

間。

高橋 ムロちゃんには、萌えとかじゃなくて、思想があるんでしょ。

室田 はい、

高橋 誰が死のうと、勝手にBLにされようと、その思想、ちゃんと描けばいいんじゃないの。

室田 ……頑張ります。

去りかける、室田に背中越しに。

高橋 ねえ、…あの子のことは、好きじゃないんだ？

室田 ……まだ知り合ったばかりなんで、

「いらっしやい」と返す高橋。

彼らは下記のような会話を話す。

この会話は幻想であって欲しい。

- ・注文を聴く高橋。
 - ・『太郎丸』の話で盛り上がるオタクたち。
 - ・コスプレの衣装出来たよ、と店長。
 - ・喜ぶオタク達。
 - ・結花が室田のモデルをやっている話。
 - ・あんたさあ、室田先生と付き合ってるんでしょ？ 的な会話。
 - ・まんざらではない結花。嬉しそう。
 - ・ミカの顎を救ってくれた晶はミカとちょっと距離が近い。
- 男女の垣根を越えてるを体現してる。
- ・楽しそうに話すオタク達。

高橋、以下の台詞を彼女達に大声でぶっ込む。

高橋 「尾山くん、悪いんだけどバイト辞めてもらえない？」

高橋 「ミカちゃんさ、同人誌描くのもう辞めてくれないかな？」

高橋 「結花ちゃん、悪いんだけどコスプレの衣装わざと透けるようにつくっておいたから。嫌だったら破っておいて。あと室田くんは萌えてるだけで好きでもないって、残念。友達以上、セフレ未満だった。残念。」

高橋 「晶くんだっけ？ズリーんだよ！ 覚悟決めないで欲望だけ切り離して。BLは心のおちんちんを刺激するだあ？ 生えてるだろ！ おまえ、普通のおちんちん生えてるだろが！！！」

彼女達は、ノーリアクションで会話を続ける。

高橋 ……強くなれるわけないか。

高橋、苦々しく出てゆく。

轉換。

○シーン6

不穏な空気のと、喫茶店。

バイトの尾山がテーブルを拭きながら、ミカに電話をしている。

指には絆創膏がいっぱい張っている。

神妙なトーンで会話をしている。

尾山 昼間さ、室田先生が来てたらしいんだけど、すごいテンパってて。いつもと違うもん注文してま
くってるみたいで。

間。

尾山 ゆでたまご。机に、こんこんぶつかけたり潰したり、おかわりおかわりって、すごい危ないんだっ

てえ。うん・・・確かに・・・原作いま急展開だもんね。

間。

尾山 あ、あと夜叉姫の衣装できたからさ、結花ちゃんも向かってるって。あ、ついた？ おいでおいで。いいのいいのいっもお客さんいないから。痛い？ 痛いってなによ？

電話を切る。

またテーブルを拭きだすと、ちょうどミカと晶が入ってくる。

ミカは右腕に包帯を巻いている。

ミカ (手を振り) おやまんせんぱーい、

尾山 え？ 晶くんも一緒？

ミカ あ、ちょっと朝までうちで原稿頑張ってる、ね。

晶 ね。

尾山 実家でしょく？ 実家に迷惑かけちゃダメよ、

ミカ　これ仮原です（と出す）

尾山　（ミカの手に気づき）どしたー！？

ミカ　いや、

尾山　こけた？

晶　あの、なんか漫画書く手が止まなくて、腱鞘炎になっちゃったらしくて。

尾山　えー、あたしもトーン傷すごいけど、腱鞘炎までここまでいく？（いろいろ見ようとする）

ミカ　あ、全然。

尾山　サギゾウ追悼本延期する？

ミカ　まさかあ、前のも追加で重版かけてるけど、新刊みんな待ってるから。

晶　「まんだらけ」からも追加発注きてるしね、

ミカ　じゃあ二刷はブロードウェイで、三刷をまんだらけの納品に間に合わせて、

尾山　うんうん

晶　あ、あとミカちゃんと閃いたんですよ！　追悼本の中表紙、

ミカ　飯島愛が亡くなったときのエッグみたいに、みんなで手を合わせてるっていう（などアドリブ）

晶　徹夜明けでそのアイデアでてきて、ハイタッチしちゃった（笑）

ミカ　痛いけどくっついて！

尾山 いいいい。いっちなんだけど、原作がマジカオスだから、あたしたちはあたしたちの路線でいいかないとね、

そこに室田が入って来る。

かなりグロッキー。

棒切れのように佇んで、声もか細い。

室田 あ、久しぶり……

三人 ど、どうも

室田 店長、何回かけても携帯でないんだけど、知らない？

尾山 ちょっと、わかんないですねえ。

室田 (溜め息) 店長、待っちゃだめ？

尾山 いや、ダメじゃないですよ(笑) お疲れですか？

室田 ん、まあちょっと、原稿煮詰まってるさ。

尾山 あ、そうなんですか。

室田 (メニューみて)……ゆでたまご。

尾山 かしこまりました。

ゆでたまごを取りに行く。

室田 (ミカに気付き) きみ、手どうしたの? (手首を切る動作)

晶 や、リスカとかじゃないです。

室田 きみに聞いているんじゃない? (手首を切る動作)

ミカ その、原稿描く手がとまなくて。

室田 え、そんなに書いてるの?

ミカ はい、次ボリユーム増の100Pなんです。御陰様で。あたしたちの本、コミケの角スペースとれるぐらいに売れてきて、太郎丸とサギゾウのカップリングは腐女子サイトでも殿堂入りしましたよ!

晶 腐男子にも波及しそうで、腕が鳴る鳴る、

室田 え、サギゾウ・・・死んだでしょ?

ミカ はい

室田 読んでないのかな。

晶とミカ 読んでます読んでます。

尾山がゆでたまごをもって戻って来る。

室田 サギゾウ死んだよね？

尾山 あ、でも、うちの『太郎丸』では生きてるんで……。ゆでたまごです。

室田 うちの……。？

ミカ サギゾウ死んだときは本当にショックで、それこそ手首切っちゃおうと思ったんですけど、ははははは……。だけどこれで「永遠に自由になった」って、フアンの間では。

室田 ん？

尾山 幽霊になったことでアジトから抜け出して、太郎丸の後をついて行ってはいろんな場所で愛しあえるようになった説です。

晶 耽美度アップ、

室田 太郎丸一行は、太郎丸、カエデ、ジャリズム、夜叉姫の4人なんだけどな。

尾山 プラス、サギゾウが幽霊になって。

室田 ちょっと、待ってえ。

ミカ ただ幽霊ネタじゃ、あまたのサークルと同じだなんてことで、うちはガチでサギゾウが生きてるんですよ。

室田 どうやったら、サギゾウは生き返るんだよ?! 拷問で舌を抜かれて死んだんだぞ???

三人 ああゝ

ミカ (ぐふふと含み) あ、そこはキスで

室田 はあ？

ミカ キスで舌を抜かれるのを防いだんです。そして反逆！

晶 ミカちゃん、マジナイスアイディア！ 描き甲斐あった！

室田 えーっと、納骨だってされたよね？

ミカ 北朝鮮と同じやりかたですね、あれは動物の骨で。

尾山 それはあたしのアイディアで、

ミカ サギゾウは太郎丸の「仲間」になるんです、

三人 きゃきゃきゃきゃきゃ！

ゆでたまごを叩き割る。室田。

室田 ははははははは！

椅子から転げ落ちる。

室田　　すげー！　すげー！　なんだそれ。ノーダメージ！！

三人　大丈夫ですか？

尾山、とつさにゆで卵を拾って奥に行く。

室田　　なんだそれ、なんだそれは。

晶　　もともと、太郎丸が隣国に亡命して、一気に二年たったじゃないですか。

室田　　ああ、青年編だね。

晶　　あれちよつと急だな、つて話してて。

室田　　タカさんのアイデアだからね、

二人　　え？

室田　　いやいやそれで、

尾山、新しいゆでたまごと水を持って来る。

ミカ　　その空白の二年をあたしたちで埋めてるんです。先生がくれたプレゼントだと思って。

間。

室田 じゃあそのきみたちのアイデアを、俺にプレゼントしてくれない？

三人 ……

室田 パクらせてよ。

尾山 ……先生、なにを言ってるんですか？ あたしたちBL同人ですよ。

室田 いやいや、いままで散々ひとのパクって来たんだからさ、逆があってもよくない？

ミカ 冗談ですよ。

見本の原稿を見る室田。

室田 へー、面白いじゃん！

三人 え、

室田 面白いよ！ 面白いよこれ！！！！

三人 (驚き) ええええええ！

室田 もちろん、協力欄にもクレジットするからさあ！

興奮した室田、原稿をもってソファへ戻り、食いつくように読み出す。
ミカと尾山と晶、顔を見合わせる。

室田 ねえ、いまどんな気分？

三人 え、

室田 いまさ、嬉しい？ 驚いてる？

三人 ……

室田 教えてよ、（原稿）あ、こういうのもいいねえ。

尾山 あたしは嬉しいですけど。

ミカ …… あたしは、考えさせてもらっていいですか、

尾山 ミカ嬢、サギゾウ生き返るんだよ？

ミカ え、でもそれ、あたしのネタじゃん、

尾山 それが叶うんだって！

ミカ じゃあ、あたしたちいま必死に書く必要なくない？

室田 あんま揉めないでよ、

二人 （制して）ちよつといいですか、

尾山 晶くんは？

晶 俺は、その・・

尾山 いいじゃん、同人と原作が同時進行したって、

ミカ でも、原作で思い通りにならないところや、すかつとしたいから、あたしたち描いて来たんでしょ？
！

尾山 は？ 同人をミカ嬢はどう捉えてるの？ あたしはプロへの助走だと思ってるし、

ミカ ババアになって萌え死ぬまで趣味でいいって言ってたじゃん、

尾山 趣味でいいとは言って無いよ、

ミカ あたし、いろいろ自信付いて来たのに、

尾山 スカウトされてんじゃん、

ミカ そうじゃなくて！

晶 ちよつとやめましょーよ、

尾山 だから晶くんは？

晶 俺はその、もともとピクシブで声かけてくれたのはミカちゃんだし、できれば彼女の意見を尊重したい！

晶、ミカを庇うように主張する。

尾山　　はあ？　なに？　あんたたちできてるの？

二人　　・・・できるとか（誤魔化す）

晶　　妻子いますし、

尾山　　妻子いたってセックスできるでしょ！？　そもそもミカ嬢、同窓会で彼氏出来たって言ってたけど、晶くんのことなの？！

ミカ　　（困り）歯が痛い

尾山　　なんで歯が痛いの？　嘘ついたわね（晶に）　そもそも腐男子の癖に、

晶　　だからホモじゃないって言ってるじゃないですか、ループ入れますよ、

尾山　　認めた。はくくく！　ミカ嬢、不倫だよ？　そんなんで同人もぶっ続けてやるって性豪だと思
うんだけどな、

ミカ　　だって『太郎丸』も晶くんも好きなんだもん！　八つ当たりやめてよ、おやまん先輩こそ、彼氏
つくればいいじゃん、

尾山　　原稿印刷発送！　どこにそんな暇あるってのよ！　あ、なんか話ズレてる気する。

ただ見ている室田。

そこに結花が鞆を持ってやって来る。

緊縛していた空気がやや戻る。

結花 ごめんなさい、遅れちゃって。あ、先生ー！

室田 やあ、

結花 大丈夫？（と髪をくしゃっといじる）

室田 大丈夫だって、

笑いあう二人。

結花、改めてオタクたちのテーブルへ。

結花 ごめんなさい、金曜だから、デモ行ってて。

尾山 デモ？

結花 そう、デモ。国会前の。先生も行くって誘ってるのに全然ダメで、

室田 原稿あるから、

ミカ 結花は、リア充だからなー、

結花 なにそれ、

尾山 ごめんね、店長ちよっと居ないんだけど、試着してみて。

結花 え、残念。御礼言いたかったのに。

室田 なになに、なにが起きるの？

結花 はつきり言って先生、喜ぶよ。

尾山 自信家く。

結花、顔が暗いミカに話しかける。

結花 お姉ちゃん、

ミカ ……

結花 お姉ちゃん、病院行った？

ミカ ……行った行った。

結花 警察は？

ミカ ……行った行ったよ、

結花 ほんとに？ 時間ないとかでうやむやにしちゃだめだよ。

と、奥に引っ込む。

尾山 警察？ 警察ってなに？

ミカ なんでもない、

尾山 コミケ前に困るんだけど、

ミカ …… 昨日の夜、なんか、スーパーの裏で変質者に殴られて。

尾山 やだ、なにそれ

晶 覆面してたらしくて。

尾山 覆面？

晶 夜に買い出しにいったときに、

尾山 そいつ強盗かなんかしようとスーパーの裏にいたの？

ミカ でもうちの近所、普通に変態多いから、

尾山 そんなわけないでしょ（晶に）あんた男の癖になにやってんの？

ミカ …… 時間ないし、おやまん先輩に心配かけたくないし、

室田 俺の提案もうやむやにしないで考えといてね。

三人 ……

室田 こっちも時間ないからさ。

三人 ……

晶 (思わず立ち上がる) いいんですか? . . . 『太郎丸』は先生のものじゃないんですか?

間。

室田 フツ、そう思うよね。俺の気持ちも、少しでも判った?

三人 . . .

室田 プロとアマの違いって判る? どんなことしてもケツ拭くのがプロ。

三人 . . .

室田 ねえ、ミカちゃん。俺が、晶くんの奥さんに二人のこと黙ってるのってのが条件ってのはどう?

三人 . . .

室田 もう逃げられないからね。

間。

音楽がかかり、結花が夜叉姫のコスプレに着替えて登場する。

結花 じゃーん!!

明かりもフラッシュの連続に変わり、

その場にいる全員が、みんなコミケにいるカメコ（カメラマン）に変わる。

スマホでいいので、「こっちポーズくれますか？」など言いたい放題。
はしゃぎまわる。

全員が熱狂的に結花を撮り続ける。高橋もちろんいる。

狂騒の盛り上がり。

これは演劇的な幻想である。

暗転。

○シーン7

狂騒のなか、全員がはしゃぎ回ったあと、

結花がひとり酒をのみ、倒れるように床で眠っている。

床にビール瓶が転がる。

深夜。

影の色を濃くしたような室田が、そっと入って来る。

電話をかけているが、全て留守番電話に繋がってしまう。

室田、低くドスの利いた声で、

室田　もしもし、尾山さんいまどこですか？　連絡待ってまーす。

室田、身も蓋もない怒りをにじませて、

室田　・・・もしもし、ミカちゃん？　いまどこ？　コミケもいいけどさ、ネタだしてからやれよ。
物凄く怒鳴る）こっちがあるからそっちがあるんでしょ！！！！　・・・晶くんにも伝わってるかなあ？
連絡まってまーす。

室田、赤ん坊のようなデレッデレの甘えた声で、

室田 タカさくくん、どこにいんすか？ なんで急に店締めちゃうんすか？ タカさん、タカさんは、俺の味方でしょ？ ・・連絡待ってまーす。

電話は誰にも繋がらない。

室田、吐き捨てるように覚めた声で

室田 ふざけんよ・・・どいつもこいつも。

室田、奥のテーブル裏に倒れている結花に気付く。

電気をつける室田。

電話がなかったかのように、ヒーローのように振る舞う。

室田 結花ちゃん、起きて。どしたの？

結花 ・・・ん、

室田 飲んでるの？

結花 んー、やけ酒しちゃって。

室田 その衣装で？

結花 夜叉姫じゃ！（漫画の中の決め台詞っぽく）

室田 はいはいはい、

結花 控えおろう！（決め台詞）

室田 はいはい、起きて、座って。

と、ソファへ座らせる。

結花、介抱されつつ、キスしよう手を伸ばす。

室田、ついよけてしまう。

結花、室田の頭をつかみ、キスしようとする。

が、笑いながら避ける室田。

結花 いいかげん、キスせんか？！

室田 まだそのキャラなの？

結花 夜叉姫じゃ！（室田に）童貞じゃ！

室田 童貞じゃないです、

結花 何故キスしない？ (室田に) ゲイじゃ！

室田 ゲイじゃないです、

結花 むむむ・・・あつたま痛い。

大仰にソファに倒れこむ。

室田、奥から水を持ってきて、結花に渡す。

結花、やっと一口飲み、

結花 あした中止だって。

室田 中止？

結花 辞退っていうか、

室田 聞いてないけど、

結花 先生、コミケいくの？

室田 いかないけど、

結花 すんません！ なんか、おやまん先輩が変態に襲われたとかで、

室田 レイプ？

結花　じゃなくて、指をぼきんって、超怖いんだけど。何本やられたかは知らないけど、手がモナカミ
たくなっちゃったみたいで、

室田　ミカちゃんは？

結花　すみません2（ツー）！　というよりスーパーすみません！　それ聞いたら、ショックで晶くん
と逃げちゃって。お見舞いいけよお。まあ、怖いかそりゃ。

室田　・・・

結花　名探偵ユカンボの推理ではですねえ、えー、たぶんうちの姉を襲ったやつと同一犯人ではないか
と思っているのですよ。

室田　・・・うん、

間。

結花　先生じゃないよね？

室田　（笑い）なんで？

結花　怨恨でいくと先生しかありえない。

室田　・・・恨んでなんかないよ、

結花　嘘。

室田 なんかもうそういうゾーンから脱した。

結花 だって、最近の『太郎丸』めっちゃくちやだし

室田 ……みんなで頑張ってたけど、

結花 7つの声を取り戻さなきゃ行けないのに、亡命したままだし、隣の国には声がないでしょ？

室田 無いね。

結花 なんで声のない方に行っちゃったの？

室田 なんでだろうね。

結花 なんでだろうね？

室田 ……

結花 誰のアイデアなの？

室田 (首を振る) もう溶けちゃって、誰のかわかんない。

結花 話戻るけどさ、もし先生が犯人だったら、同人なんか書いてるからアイデアでねーんだろ！ ガ

ーん！ って

室田 ……ははは

結花 Bも書けなくなるし、アイデアに専念するので一石二鳥かと

室田 妄想やめて、

結花 うーん、怖いな

室田 俺が本当に犯人だったら、どうする？

結花 一緒に警察行く。

室田 せめて連載終わるまではやだなあ。

室田、気ますぐなり、ソファから離れる。

室田 『太郎丸』、あと二回で終わるんだ。

結花 え、打ち切り？

室田 いやいや違うよ、終わらせた方がいいんじゃないかって提案が来て。

結花 打ち切りだよ、

室田 うーん、言い方、

結花 七つのうちまだ四つしか取り戻してないのに、どうやって終わらせるの？

室田 まあ、二個ずつ二話で取り戻して、

結花 すっげー駆け足じゃん。

室田 ……途中のまま、「俺たちの戦いはこれからだ」的なラストには死んでもしたくないけど
結花 なにそれ？ みんな知ってるの？

室田 コミケ終わるまで黙っとうと思っ

落ち込む室田。

結花 やっぱりさ、あのとき無視しとけばよかったんだよ。そしたらここまでこんがらがらなくても、

室田 自分が逆の立場だったら、無視できる？

結花 店長も言ってたじゃん、見逃せって

室田 見逃してたよ、

結花 許してただけで超意識してたじゃん、

室田 . . .

結花 室田先生、プロでしょ？

室田 . . .

結花 なんで、無視できないの？ んー「逃げ」みたく感じるの？ 「かっこわるい」とか？

室田 そうじゃない、

間。

結花 あたし、デモで偶然、元カレと会ったのね。

室田 元カレ？

結花 初めて付き合ったひとで、学校の先生。ギターが上手くて、政治とか超詳しくて、あたしがデモとか行くのも、その先生の影響っていうか。ルックスは、睫毛が長くて、（説明めんどくさいな）北大路欣也みたいな。

室田 北大路欣也がデモに？

結花 「似」のひとね、「似」。こっぴどい別れ方しちゃったんだけど。思い出話に花咲いちゃって。「ピアノまだやってんのか、バンドやってるのか？」とか、「お前から借りたCDこの前出てきたぞ」とか、

室田 そうなんだ。

結花 北大路、まだ奥さんといるくせに超明るくて。でも「あたしいまコスプレしてます」、とか恥ずかしくて言えないしさ、でも、デモいくたび、なんか楽しく話すようになって、

室田 . . .

結花 だんだん、デモに行きたくていってるのか、北大路に会いたくていってるのか、わかんなくなってきたら、え、もしかしてあたし北大路に萌えてる?? って。

室田何か言おうとする

結花 待つて待つて待つて、でね。ふたりとも、それを自覚してて、あ、ヤバイな、って感じたの。

間。

結花 このぐちゃぐちゃな溶け方、不味いなって。それでね、どっちがいうわけでもなく、その次のデモから無視するようになったの。お互いに。

間。

結花 そんなときあたし、悟ったわけよ。無視するんだよ、いろんなことを。共存しながら、叩き潰すわけではなく、きちんと無視するんだなって。・・・以上。

室田、動揺しつつ

室田 つつつきあえばよかったじゃん。北大路欣也と。

結花 聞いてた？ お互いに守るものや目的があるから無視するんでしょ？

室田 守るものってなんだよ、反原発？ 反安保？

結花　・ ・ あのさ、先生じゃん！

間。

結花　なんで、それわかんないの。

室田　・ ・ ・

結花、立ち上がり室田から離れ、
椅子にかけてあったコートを被る。

結花　帰る。無視も満足に出来ない大人といってしまうが、

室田　違う違う、ちがう、

室田、結花の腕を掴むが、結花は怯まない。

結花　何が違うの？　好きだって言ってきたくせに、キスもしてこないって、あたしはオタクのフィギュアじゃないんだけど！！

室田 わかった、わかった！ おれ、おれは、

結花 なに！？

室田、聞き取れないくらい絞り出した声で、

室田 ・・男と、付き合ってたことがあって。

間。

間。

間。

結花 だから、BLが無視できなかったんだ、

室田 ・・・

結花 安易に書いてんじやねえぞ、って。腐男子とかなめてんじやねえぞって、

室田 違う。もともと、女と付き合ってたから。本当の自分は、こっちなんだけど。ひっつどい、ひっつ

つつどい振られ方してさ。

結花 . . .

室田 . . . それでこれは偽物の世界なんだって思ったなら、男とは気が楽に付き合えて . . . 気づいたら、どっちが、本当か、

結花 でもあたしが好きなんでしょ？

室田、問われて、はっきりと頷く。

結花、泣きそうになる。

結花 じゃあ、それでこそその無視でしょ。なんで、そうしてくれないの？

室田 . . .

結花 あたし、差別も偏見もないけど、ショックはあるけど。先生がしてたのは、ただの同族嫌悪、

結花、出て行く。

このカフェから、誰もいなくなる。

室田、残った酒瓶に口をつける。

室田
・・・同族嫌悪、

もう一口飲む。

室田
嫌悪？

間。

室田
どっか嬉しかったんだよ。きつと。

室田、机に突っ伏したまま寝てしまう。

明かりが暗くなる。

時間が経つ。

ほぼ暗闇の中。

ふと、高橋が走って入って来る。

全身黒ずくめで、室田に気づかず、奥のテーブルまで行ってしまふ。

深くかぶったニット帽を取り、マスクを外し、テーブルに投げる。

そして、ズボンにしまっていた、ハンマーを取り出し、着ている服でハンマーに付いた血を拭き始める。

息が荒い。

ふと、室田を見つめる。

高橋、小さな、小さな声で、確認する。

高橋
ムロちゃん？

室田、起きない。

震えが止まらない。

室田の前にいき、寝ていることを確認する。

ハンマーを握ったまま、軽く頭にキスをする。

出口へ向かう高橋。

室田
(小さく) タカさんでしょ、

間。

室田
タカさんでしょ？

高橋、答えないまま。

無視をして静かに出てゆく。

扉の閉まる音。

間。

室田、ゆっくりと起きて、ドアを見つめる。
最後の一口を飲む。

ずっとドアを見つめたまま。

暗転。

『MY SWEET BOOTLEG』了

上演記録

2016年5月、東京芸術劇場アトリエイーストにて上演。

MY SWEET BOOTLEG (2016)

2020年5月26日 初版発行

著 者 ハセガワアユム © 2020年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529
